

あどばいとい

HSK

12・1月合併号 No.204 [2017▶2018]

定価 100円

1973年1月13日第三種郵便認可 HSK通巻番号549号

発行人=北海道障害者団体定期刊行物協会

発行日=2017年12月10日(毎月10日発行)

編集者=我妻 武

◇特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ
〒063-0812

札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F

TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323

ホームページ <http://npolife.net/>

あどばいとい【advocate】=すべての人がもつ権利を、障害などさまざまな理由で行使できない状況にある人に代わり、権利擁護のための活動を行っている人々の事。

年末年始の ご挨拶にかえて

我妻 武

まずは日頃からお世話になっている個人、団体の皆さま方にお礼申し上げます。いつも変わらぬライフに対するご支援、ご協力に感謝申し上げます。

お陰さまでライフとしては大きな事件、事故もなく年末年始を迎えられそうです。仕事につきましてもライフの皆さんが頑張ってくれたお陰で何とかというところです。

また、2017年11月18日、19日の両日に函館で行なった共同連in函館研修会も多くの方々の参加を得て無事に終了することが出来ました。ライフからも26名が参加させてもらいました。参加者それぞれが色々な刺激をもらって帰ってきました。

来年は共同連のモンゴル大会を予定していますから、こちらについても参加者を出せるように努力しなければなりません。引き続き、共同連の取り組みを知らせることと、一緒に活動することなどをライフとしてもやっていきたいと思っています。

ライフについては、うわべだけではなく引き続き愚直に「共生」、「共働」について議論をし、考えることを繰り返したいと思っています。そうしたことが、自前の生活する場、仕事をする場という拠点作りについての具体的な構想につながると信じています。

少々遠回りでもこれまで重ねてきた議論を愚直に引き続き行わなければなりません。

ともすれば、知ったつもりになり、理解したつもりになり、上から目線で指導することにならないために。また、単なる権利主張だけで、終わらせないために基本から仕事や生活のことを考えることをみんなで始めたいと思います。

ライフでは、障害者も健常者も、一人ひとりの人権が尊重される社会づくりと、共に働く喜びを得るために引き続き活動をしていきます。

最後になりますが、2017年の新年の挨拶でライフのビル建設の構想を提案しました。荒唐無稽と一笑された方々も多いと思います。しかし、私たちは自分たちが信じる道を進みたいと思っています。そのためには計画が具体的に変わりましたら、皆様方にも情報を提供し、ライフの考えていることも提案させていただきながら広く多くの方々のご支援、ご協力も得ながら進めていきたいと思っています。

最後にお掃除用品などを扱っている株式会社ダスキン創業者の鈴木清一氏の言葉を紹介して結びます。

このダスキンは、「愛の輪基金」という団体も作り、障害者を海外へ研修に出すという地味ですが大切な取り組みもしているところです。その研修を体験された方々は全国に居て様々な活動を展開しています。亡くなった私の妻もダスキンのフランチャイズ店で仕事をしながら「愛の輪」を応援していました。

株式会社ダスキン創業者、鈴木清一氏の言葉から

『信念を実行に移しなさい、迷うことはない。あなたの信念を押し通すことです。少なくともそれは、自分だけのことでなく、他人のためにもなることであるなら、さあやりなさい。ぐずぐずして実行しないことが一番いけないことです。失敗を恐れる思想は、成功へのチャンスを見失うことです。』

2018年もライフのスタッフ、メンバー一同ともに楽しく仕事をしていこうと思っています。

最後になりますが、2017年お世話になりました。お礼と来る2018年がすべての皆さまにとってのご健勝とご多幸になることを心からお祈り申し上げますとともに、どうぞ引き続き、ライフに対する一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

鈴木清一(すずき せいいち/1911年-1980年)は、「ダスキン」の創業者として知られる愛知県碧南市出身の実業家。日本初の複合フランチャイズ企業としてダスキン企業グループを率いていた。1944年-ケントク創立。1963年-ダスキン創業。1971年-ミスタードーナツ事業の導入。1980年に68歳で永眠。

2017年共同連全国研修会IN函館

ころや 田中 伸和

11月18日、19日の二日間、函館にて「社会的事業所をさらに広めていくために過去に学び、現在を問い、未来を拓く」というテーマで開催されました。

18日は開催挨拶や来賓挨拶、基調提案、シンポジウム、ディスカッション、懇親会。19日は9人位のグループにわかれてのディスカッションという流れでした。今回は、400文字の割り当てなので、簡単に書きます。

- 来年大会が行われるモンゴルでは制度は無いが、障害者は元気に過ごしていた。
- 自分自身がどう主体的に生きていけるかが幸せなのではないか。それが今の日本では失われている。
- 自立支援法、総合支援法と、障害者を訓練し、支援する。そんな制度に縛られていては社会的事業所は出来ない。小さくまとまってしまう。
- 制度というものは便利な部分はあるけれども、それに縛られてしまつては危険だ。
- 仕組みとしては充実してきているけれども、多くは給付金に流れていつてしまっている。
- 多くの人が福祉に参入できるようになり、本来の主旨に添わず、増大し、弊害がおきている。法や制度が無くても、しっかりやっていければ社会に認知され、浸透していくのではないかな。
- 今の若い人にも、社会に対する疑問を持った立ち位置に

立ち、おかしい、と思ったら変えていかなければならない。そのためにどうなったら良いのか、そのためにどうしたいのか、しっかり信念を持って行動をしていく。

- 今の若い人は争いを避けようと、見たものも見ていないふりをしてしまっているのではないかな。
- これからの世代も自発性、主体性をもって運営をしていってほしい。

最近SNS等での活動が活発になっていたり、形も変わりつつあるようです。創業世代と呼ばれる人達とは体験した事、目にした事、生きている時代が違うかも知れない。学び、問い、どう拓かれていけば良いのか、皆で話をしていきたいと思いました。



共同連全国研修会in函館を終えて

シゴトシンク北海道 清野 侑亮

初の地元開催ということもあり、準備や段取りで戸惑いながらも、周囲の皆さんのご協力のもと、大盛況のうちに閉会できたことにホッとしております。

今回の研修会は、自分自身に大きく響くものとなりました。力強い励みと、より謙虚な姿勢の大切さを学ばせていただいたように感じております。

共同連にはたくさんの団体や法人が参加していて、そこにそれぞれの理念があり、さらに多くの働く人たちが関わっている中で、お互いの違いや差異をぶつけ合うのではなく、認め合って高め合う場として、共同連というものが存在するのだと再認識した次第です。

私たちのようなまだまだ小さく弱い法人は、つい理想に向かって突き進もうとする意思が先行し、足元を盤石に固

める努力を疎かにしてしまいがちです。

そんな時、共同連が築いてきた歴史を謙虚に学び、より良い社会に向けて地道に進んでいけるよう襟を正す場として、これからも学ばせていただきたいと思っております。



異議あり!

指定就労継続支援A型事業所における 適正な運営に向けた指定基準の見直し 石澤 利巳

障害者自立支援法(現総合支援法)は、障害者の就労支援として就労継続支援A型(雇用型)・B型(非雇用型)、2年間の就労訓練を行う移行支援型を設置した。

近年、給付金目的の悪徳事業者が増えており、制度的にはA型事業所を活用した「悪しきA型事業所」を運営する法人が増えている。悪しき事業所の典型は、A型であろうとB型であろうと実質的な生産活動は何もせず、障害者には2時間から3時間程度の給与(工賃)を支払い、手元に残る給付金だけを目的にした手法である。

厚労省はこうした事業者を排除するという目的で、A型の障害者給与は事業売上から諸経費を除いた収益から支払う事として、給付金を障害者給料に回してはならぬと、通知をだした。この通知は、懸命に共に働く事業を進めている法人も、悪しき事業所も一緒にしたものであり、「悪しき事業所を排除する」目的から離れ、小規模作業所時代から共に働く場を作ってきた事業所にも大きな打撃を与えることになった。その結果、障害者の労働時間の短縮や賃金カットせざるを得ない事業者も出てきた。また、事業廃止に追い込まれたり、B型事業所に転換せざるを得ない事例が各地で起きている。国は、事業収益上の赤字業者には経営改善計画書の提出を義務付け、それでも改善できないとなれば「事業廃止」という対応である。

ちょっと考えてみよう。雇用主が赤字理由で労働者の賃金を削減したり労働時間を短縮したりすることが安易に認められるのだろうか。労働基準法はそんなことを認めはしない。企業活動では、業績のいい部門もあれば悪い部門もある。だからと言って、悪い部門の労働者の賃金を下げていいとはならない。黒字の部門から赤字の部門に補填するなり、一時的に借入金で補填することもある。しかし、A型事業所では何故それが認められないのか、ボクには不思議でならない。

逆の話も聞こえてくる。A型でもB型でも、事業売上

の中から過大な経費建てを行い、障害者には実益の半分しか支払っていない事業所もあるという。これに対しては何の処分もないのが実態だ。

こうした動きに対し悪徳事業者は、A型から移行支援事業に姿を変え、工賃支払いの義務がない移行支援事業を逆手に取り「わが移行支援事業は、ひと月〇万円の工賃の支払いを約束します」というような人集め広告も出しているところもある。

厚労省のこの決定は良質な事業所自体をも潰してしまう危険性を孕んでいることを知ってのことだろう。同時に、とても残念なことだが、札幌市の自立支援協議会では、すべてのA型事業所が「悪しき事業所」のような議論がなされているという噂も聞こえてくる。

では問いたい、A型云々の前に、移行支援事業そのものが障害者の就労支援にどれほどの成果があるというのだろう。訓練によって一般就労させることが何よりの「善」と思い上がっている支援者がいるとしたら、それこそ「給付金目的の悪しき事業者」とどこが違うのだろうか。障害者の働きたいという思いは、移行支援の訓練などでできるのではない。それは共に働くことによって培われるものだ、という事をもっと知るべきだろう。共に働くこともせず、いつも訓練することが支援と思っている支援者には厳しく問いたい。

ボクの文章が感情的な表現になっていることは十分承知しているつもりだ。でも、A型事業所でおこる諸問題がすべて「悪しき事業者」という一括りの判断が蔓延していることに危惧するゆえんである。制度が歪んでいるが故、様々な問題が噴出している。A型で働く障害をもつ労働者には、原則利用料負担義務はいまだ規定されている。障害者自立支援法から丸10年が経った。いまこそ、総合支援法そのものの全面的な見直しをする必要があるとボクは思う。とりわけ、障害者には福祉法が優先で労働基準法は二の次なのかという疑問がいつも付きまとう。興味ある弁護士さん、一緒に考えてくださいませんか？

就労継続
支援事業
A型

共働事業所 きばりや

農業／軽作業

■農業 ■ポスティング ■DM発送 ■軽作業 ■その他委託業務



カフェ・ド・キバリヤ

Cafe de Kibariya

喫茶

■カフェ、ランチ、スイーツなど ■食品販売

去年を振り返って

カフェ・ド・キバリヤ 若森 舞子

去年は、カフェ内のメンバーが変わったり、委員会が立ち上がって、他の事業所の方々と話す機会が増えたり、また、ライフに入ってから初めて他の事業所(多摩市のあしたやさん)を見学させていただく機会をいただくなど、内外ともに、変化や考えさせられることがとても多い一年でした。



毎日色々なことが起こりますが、その度に迷ったり、悩んだり…。でも、その時々感情や考えをみんなが発信しやすい

環境を作ることや、理解しあおうという気持ち、どんな意見も受け入れようという基本姿勢をもちながら、みんなでどう解決していくかという“過程”こそが大切なのだと思います。そして、そんな日々の積み重ねがカフェ・ド・キバリヤを、そして、ライフを作っていくのではないかなと感じています。

毎日毎日の出来事のひとつひとつを大切に、今年もやっていきたいと思っています。

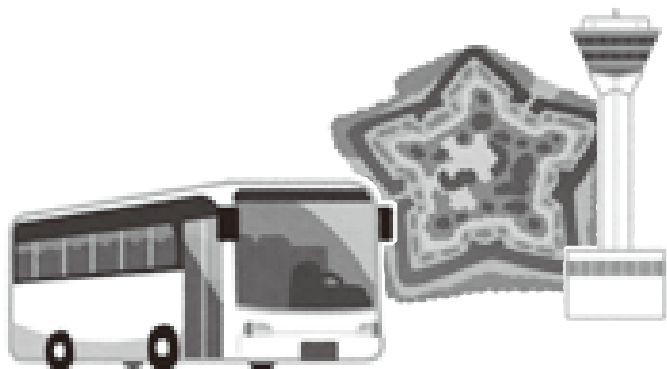


THE☆共同連

石川 和寛

11月17日～19日まで僕と大浦さんが共同連全国研修会で函館に行ってきました。

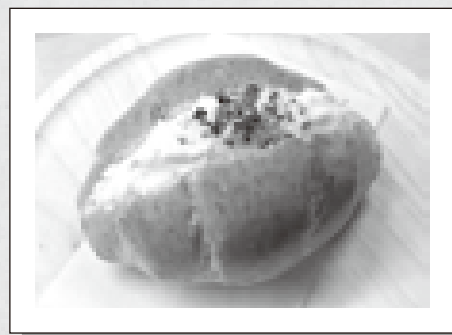
11時にライフに集合して、実行委員以外は地下鉄でバスセンター駅まで行き、そこから高速バスで行きました。休憩はあったものの長時間座りっぱなしだったので疲れました。ムズカシイ話でさっぱりわかりませんでした。お風呂は大浴場のわりには小さかったです。

Cafe
de
Kibariya

カフェ・ド・キバリヤ

今月のおすすめ!

アンケートでダントツに多かった、気軽にテイクアウトできるサンドイッチメニューの登場です。バターの香りが豊かなふんわりロールパンに、ポテトサラダや有精卵イコロランを使ったエッグサラダ、バターと手作りジャムなどが入っています。



《ロールパンサンド》…………… 250円



生活介護事業 こころや

お米販売／軽作業

■レクリエーション ■アート活動
■お米の卸し・販売 ■軽作業

♡ 11月18日～20日まで函館研修にて 山口 敏明

函館には2年前の春くらいで、今回2回目でした。
金曜日の午前9時30分に車で函館に向かいました。どう中パーキングで休みを取り、着いたのが夕方17時ごろ、けんしゅう会に参加して夕方9時ごろに宿舎に着いて泊まりました。

2日集会と別にして函館の街を見学旅行を楽しみ五りようかくへ行き、入浴して2日を泊まって、11月20日朝9時半ごろ函館をあとにして札幌へ帰りました。

今回の函館は冬の観光としてどんな仲間たちがいきづいて働く、友に楽しんでいくかが課題でした。とてもよい旅行でした。



♡ 11月18日から20日まで 松村 亨

函館に行つて

函大の女子大生にいろんなアンケートを〇でかこんで、函館の観光に行きました。

ごりようかくタワーにのぼって車がミニカーに見えました。



みっちゃんの

勝手にどうぞ～!

今月のゲスト／石澤 利巳

❖ 宜しくお願いします。石澤さんって、どうしてライフってめんどくさい会社つくったんですか？

なにがめんどうなんですか？

❖ きっかけは？

ライフをつくったきっかけ、めんどくさいとは思った事は無いです。訂正してください。1999年、印刷会社の代表社員をやっていて、お金も多くもらっていました。一方作業所で働く人は賃金が安かった。一緒になればみんなで稼ぎ、障害者の分配もアップするし、楽しくやれると思ったからです。

❖ …(少し質問に悩む時間がある)

お互い少し酒でも飲んだほうがスムーズにいくんじゃないか？

❖ ライフビルを作る事は夢ですか？

ビルは夢ではない、生活の場を作る事が夢です。結果ビルになっただけ。

❖ 障害者に言いたい事ありますか？

山ほどあるよ、言いたい事は、主体性を持って欲しい。生活、働く、社会の事を自分の事だと考えていかないと、いいなりになってしまう。責任制と主体性を持っていかないと。自立支援法ができてから主体性を奪われているような気がします。

❖ 俺は確かにそれは無いとは言えないけれども、俺は少しでもこうゆう人もいるんだと知らせるために、外に出ているのね、出すぎと言われても。その中で少しでもこんな人も生活してるんだと、オセロもヨサコイもやっている。
話変わるんだけど、好きな人いますか？

質問の主旨がぶれてるね、好きな人はたくさんいます。どんな主旨の質問？

❖ じゃあ彼女

たくさんいますよ。岡林さんは彼女いますか？

❖ (足を横にふる)いやいや

こっちからの質問は受け付けてないの？

書記 T: はい

石澤 利巳さん、ありがとうございました!



就労継続支援事業B型

コン・ブリオ

ひだまり

食品販売飲食業／清掃

- 食堂（ランチ、ドリンク）
- テイクアウト弁当
- 自然食品、フェアトレード商品販売

世界の正月料理 近藤 淳一

日本では、元旦におとそを飲み、おせち料理やお雑煮を食べ、そのほかにも正月飾りや初詣、お年玉など、たくさんの縁起物で盛大に新年をお祝いします。では、世界の人はどんなふうに新年を迎えるのでしょうか？

『ヨーロッパはクリスマスの方が盛大』

ヨーロッパでは、大晦日の夜12時にいっせいに車のクラクションを鳴らしたり、爆竹を鳴らしたり、花火を打ち上げて新年を祝う地域もありますが、行事としてはとてもシンプル。お休みも元旦の1日くらいしかなく、いつもの祝日と変わらない感覚です。

なぜなら、ヨーロッパやアメリカはキリスト教徒が多い国だから。イエス・キリストの生誕祭・クリスマスは、ごちそうを食べて盛大にお祝いしますが、その1週間後にくる新年は、それほど重視していません。

従って、お正月料理というほど特別なものはありませんが、たとえばフランスは「ガレット・デ・ロワ」という丸い焼き菓子、ドイツは「イヤールスブレーツェル」という大きなパン、スペインは12時の鐘の音に合わせて、12粒のブド

ウをひと粒ずつ食べる習慣があるそうです。



ガレット・デ・ロワ



イヤールスブレーツェル

『アジアのお正月は2月8日の春節祭』

お正月をはじめ、日本の年中行事の多くは中国から伝わったものですが、中国で盛大にお祝いするのは、元旦ではなく、1月末から2月初めの旧正月（春節）。日にちに幅があるのは、毎年旧正月の日付が変わるから。2016年は2月8日です。日本でも、横浜や神戸の中華街で盛大な春節祭を行うので、ご存知の方も多いでしょう。中国の北方地域では、旧正月に家族・親戚が集まって水餃子（写真）を作り、ごちそうを並べて盛大にお祝いします。

ベトナム、韓国、台湾、モンゴルなど、中国文化の影響を受けたアジアの国は、元旦ではなく、旧正月を盛大にお祝います。

そう考えると、日本のように元旦に家族や親戚が集まって盛大にお祝いする国は、意外と少ないようです。「お正月」という日本ならではの伝統を楽しみ、大切に伝えていきたいものです。



マイブーム

本田 大祐

僕もイオンで働いています。

僕の好きなDVDのソフトはゲームセンターCXです。僕の好きな漫画は銀魂と木根さんの1人でキネマです。僕の好きなアニメはドラゴンボール超です。僕の好きなアーティストは、いきものがかりと三浦大知とポカリスエット（初音ミク）です。



頑張っていること

伊藤 美由紀

市立病院の仕事がなくなってからひだまりで天気がわるくても、本部にお弁当はいたつやかいいしゅうにも行っています。

まちかど荘では、お米とぎや洗い物とそうじかけをしています。



全国大会を終えて（共同連函館研修会）

横窪 友美

1日目は、実際に障害者支援をしている人たちの話をたくさん聞くことができました。印象に残っているのが「そんなつもりはなかったはこちらの都合」という言葉で、本当に自分のものさしではなく、相手の立場に立つて考えるということは、言うは易し行は難いですが、ずっと考えていかなければならないことだと思いました。

2日目は討論会でした。初対面の人ばかりで、最初はどうなることかと思いましたが、みんな良い人たちばかりで、だんだん楽しくなり、自然と発言していました。肝心の結論は出ませんでした。とても有意義な時間でした。

とても実りの多い2日間だったと思います。

たねや
キャラクター
タネコ就労継続支援事業B型
共働サービス

たねや

店舗業務／清掃／軽作業

- 自然食品・雑貨などの販売、店舗業務
- 出張販売 ■ 清掃委託業務
- 軽作業

一年を振り返って

奥井 忠宏

つい先日1年を振り返った気がします。
1年が早いです。

今年は、研修なども充実して介護方面も少し勉強させていただきました。何年か後の新ライフでも通用するように、イベントの企画や装飾・広報も含めて、みんなで話し合いながら、いろいろな店舗業務を分担して増やしているところです。

いつもみんなに助けられ、支えられているので「倍返しだ!」(ネタが古い)と思いながら過ごしている今日この頃です。常に新しいことに地味にチャレンジしているたねやですが、地力がだいぶ上がってきたと思います。新年からはより遠くの人にも届いて喜んでもらえるようなたねやになっていけるようにシフトしていけると感じられて今から楽しみにしております。

いつも温かくたねやを見守ってくださる方々、本当にありがとうございます。今後も変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

を買いました。私の行きたい場所に行けて良かったです。その後、研修に行きました。シンポジウムで現役時代のライフの田中さんのお話がおもしろかったです。後はシゴトシンク北海道の下斗米さんのお話が良かったです。

懇親会ではオードブルとお刺身とおかしを食べたり、お茶を飲んだりしました。いろんな人と話をできて良かったなと思いました。ホテルに戻って部屋で私の誕生日のお祝いをしてくださいました。最高の誕生日でした。

3日目はグループ討論で、私は第2部でジヨンさんと下斗米さんと一緒に話をしました。共に働き共に生きるためにできることはなにか?を話しました。たねやの事も話をしました。共同連でいろんな話をして良かったです。

終わったら車に行って五稜郭駅でやき鳥弁当を食べて高速バスに乗って札幌に帰りました。4年ぶりの函館で誕生日を過ごせて良かったです。また共同連に参加したいです。



共同連函館研修会に参加して

増田 真理子

私は11月17日(金)～19日(日)まで函館に行きました。

1日目は高速バスで函館に行って五稜郭公園前に早く着きました。ホテルはルートイングランティア函館五稜郭に泊まってホテルは松永さんと一緒にした。夕食に三代目網元魚鮮水産でコースを食べたり飲んだりしました。おいしかったのはお刺身です。ホテルで温泉に入りました、温泉は暑かったです。

2日目は私の誕生日でした。ラッキーピエロでお昼ごはんを食べて、金森赤レンガ倉庫に行っておみやげ



たねやの仕事

小野寺 宏基

2017年のたねやは、初めてたねやの店の中でバザーをしたい、第三世界のキャッシュを小さな袋に入れて、たねやブランドにして売ったりしました。売上がどうかは別としても少しずつ昨年と違ったことを見つけて仕事できたと思います。

2018年は売上をもっと上げ、少しでもいいから一般の会社に近づきたいです。



Facebook

『共働サービスたねや』のFacebookでも、商品情報などを随時更新していますのでぜひご覧ください。

随時更新中! <https://www.facebook.com/taneya.life>

共働サービスたねやfacebook

検索



ヘルパー派遣業務・在宅介護支援
ヘルパーステーション

ゆい
繭結

ヘルパー派遣業務／在宅介護支援

■ 居宅介護 ■ 訪問介護 ■ 重度訪問介護
■ 介護予防訪問介護 ■ 福祉有償運送
■ 行動援護 ■ 同行援護 ■ 移動支援

介護職の現状と 制度改革

佐々木 泰彦

今年も後わずかで終わろうとしています。

相変わらず介護職で働く人が少なく、全国的にも在宅で頑張っている障害者、高齢者の生活に支障をきたしています。繭結では45名の利用者さんを支援していますが、なんとか最低限生活に支障が出ないように職員、ヘルパーさんが頑張ってくれています。

西区西野にある高齢者の有料老人ホームの〇く〇うサービスが営業出来なくなり(原因は人手不足だけではないですが)、高齢者の人たちが他のホームに強制的に移ることになり、大変な思いをしていると思います。僕自身も朝の支援が月曜から土曜の週6回入ってもらっていたのが、繭結を含め三か所の事業所との関わりの中、東区の事業所に火、水、土の三回を人手不足で契約を解除され、今は清田で長く入ってくれている事業所になんとか、月曜、金曜に入ってもらい、繭結は利用者さんの支援で精一杯で自分の所は夜の入浴の週三回と木曜の朝と金曜のトイレ介助をしてもらっています。

11月に障害者と介護保険の集団指導に出席して話を聞いてきましたが、平成30年にどちらも制度改革があるのにまだはっきりしていなく、その説明もなく、決まりきった話しかありませんでした。介護保険の方は利用者の所得によって、一割負担と二割負担があり、平成30年8月から三割負担の方も出てくるそうです。事業所では介護予防が変わり、札幌市介護予防・日常生活支援総合事業になり、申請書類と運営規定、重要事項説明書の中にもこの日常生活支援総合事業の文字を入れ、11月29日に提出しました。

※平成30年4月から改正?の中に入院しても事業所から訪問が可能になると書かれていました。今までは入院時コミュニケーション支援で月75時間自分で介護人を頼む事ができましたが、今後は事業所が派遣できることになるみたいです。

細かい内容はまだでていませんが、右の文章を参考までに。

重度訪問介護の訪問先の拡大

○四肢の麻痺及び寝たきりの状態にある者等の最重度の障害者が医療機関に入院した時には、重度訪問介護の支援が受けられなくなることから以下のような事例があるとの指摘がある。

◆体位交換などについて特殊な介護が必要な者に適切な方法が取られにくくなることにより苦痛が生じてしまう。

◆行動上著しい困難を用する者について、本人の障害特性に応じた支援が行われないことにより、強い不安や恐怖等による混乱(パニック)を起こし、自傷行為等に至ってしまう。

○このため、最重度の障害者であって重度訪問介護を利用している者に対し、入院中の医療機関においても、利用者の状態などを熟知しているヘルパーを引き続き利用し、そのニーズを的確に医療従事者に伝達する等の支援を行うことができることとする。

訪問先拡大の対象者

○日常的に重度訪問介護を利用している最重度の障害者であって、医療機関に入院した者

※障害支援区分6の者を対象とする予定

※通院については現行制度の移動中の支援として、既に対応

訪問先での支援内容

○利用者ごとに異なる特殊な介護方法(例:体位交換)について、医療従事者などに的確に伝達し、適切な対応につなげる。

○強い不安や恐怖等による混乱(パニック)を防ぐための本人に合った環境や生活習慣を医療従事者に伝達し、病室等の環境調整や対応の改善につなげる。

《現行の訪問先》

重度訪問介護事業所から自宅

《改正後の訪問先》

重度訪問介護事業所から自宅又は病院



札幌市委託事業

アウトソーシングセンター

元気ジョブ

マッチング事業

- 民間・官公庁への営業活動
- 受注した業務の振り分け
- 授産品の販路拡大

コモン-センス

常識

小形 忠寛

営業活動をしていると少しずつではあるが、民間企業から仕事の話が出てくるようになりました。最近、GDP（国内総生産）が発表され、年率換算で1.4%のプラス成長になったとのことですが、実際の個人消費は落ちているし、「実感なき景気回復」となっているようです。それだから、道内の最低賃金は13年連続で上がってはいるものの、民間企業などで働く正規雇用のサラリーマンに対しては、なかなか思い切ったベースアップをしようという気にならないのが現実になっています。そういう状況下の中で、人手不足を外注に頼るという点で、おそらくは元気ジョブの出番が少し増えているのかもしれない。

先日、ある民間企業から袋詰め作業の依頼があって、同僚の小田島さんと一緒に先方に伺ってきました。まずは、我々から元気ジョブについての内容を説明したうえで、ご依頼の仕事内容を詳しく聞きました。その内容は、施設内で1週間から10日かけて1,000袋の袋詰め作業をします。幾つかある商品によって計量が違いますが、小さい袋は600g程度から大きい袋は1袋2.5kg程度の材料を計量して袋に詰めて空気を抜き、シーラー機で密閉するという作業です。その作業に使うシーラー機や秤は貸与してくれるとのことですが、材料は大きな番重（20kg～25kg程度）に入ったものを引き取って、出来上がった商品を納品しなければならず、総重量は2t以上にもなって、数回に分けて引取りをして、納品をしなければ

なりません。我々から工賃について聞きだそうとすると、先方は「先に（紹介をする前と言う意味で）お金の話か」と声高にして1袋2円との返事が返ってきました。「いままでの施設にはこの金額でやってくれているし、我々は営利企業だから」と縷々話された後も、さらに「貴方たちは、社会福祉法人やNPO法人は非営利でしょう」と言われ、あまりにも『常識』のない発言に驚愕をしました。

『常識』は英語で『コモンセンス』といいます。コモンとは「共通の」という意味であり、センスは「感覚」という意味であります。知っている人も多いかと思いますが、トマス・ペインが書いた書物に「コモンセンス」があります。1776年にトマス・ペインが書いた「コモンセンス」は、アメリカのイギリスからの独立が人権上の当然の権利であり、いわば、それが「常識」であるとして独立戦争に大きな影響を与えた書物です。

当然ながら、先ほどのことについては、乗れるような話ではなかったため、一旦話を持ち帰って、後日「対応できる施設はありません」と、その依頼をはっきりと断りました。あまりに差別的で人権を無視した対応や理屈に合わないような企業に対しては、我々のパートナーには相応しくないし、たとえ仕事の依頼があっても手を振って施設に紹介できない。我々元気ジョブは、お互いがWIN-WINの関係で、しかも対等なパートナーシップを今後も目指していきたいと思います。

外注したい業務のある企業様に、その業務ができる施設をご紹介します！

役務 パソコン作業／テープ起こし／封入／シール貼り／草刈り／公園清掃／ポスティング／建物清掃 など

授産 印刷／ノベルティー制作／木工品／革製品／石鹸／パン／ケーキ／クッキー／野菜／お弁当 など

販売 出張販売／イベントなどでの出張販売／バザー など

その他さまざまなご相談に応じますので、

詳しくは、元気ジョブまでお問い合わせください！（TEL:011-596-6581）

～施設紹介やイベント情報掲載！～ **元気ジョブブログ** <http://www.genkijob.jp/blog/>



札幌市リサイクルプラザ

発寒工房

環境事業／障害者・高齢者雇用促進

■木製家具や子供用遊具の修理・提供 ■自転車の修理・提供



札幌市リユースプラザ

厚別地区リサイクルセンター併設

環境事業／ごみ減量活動

 ■家具の洗い・簡易修理 ■資源物回収 ■木製家具や子供用遊具などの販売
 ■リユース自転車抽選販売 ■環境イベント、講座など

「みんなが共に」と思うとき

発寒工房 ジョン・ウルク

いまだに発寒工房の従業員は雇用の不安と心配は払拭されていません。それは新しい年度の入札で委託事業という厳しい一面に会ったからです。即ち今年は工房の皆さんにどういう風に仕事のモチベーションを保たせるかが大きい課題でした。しかし、今回の事業転換では共に働くというスローガンさえ無色な唱えに聞こえるでは無いかと恥ずかしく思った訳であります。しかし、皆さんは改めて就労と自立生活に対するより現実的な理解を深め、少しずつ自分を強めて今日に至ったと思います。

障害者の就労機会が逆に働く意欲を喪失させることになる事は障害者にとっては健常者と比べて相対的に影響を与えます。しかし、最近の急変な障害者就労環境はさらに混乱と不安を膨らませています。障害者総合支援法、生活困窮者自立支援制度、就労

移行支援、就労継続支援事業、介護事業など様々な制度または法律の下で頑張って期待して来た当事者と関係者または企業が新たな試験台に置かれているようにも見えます。こういう時こそ、差別と向き合いながら共働を実現するように制度の扱いも同様では無いかと思います。

工房では委託事業の不安定な就労環境に向かってより仲間との連帯を堅実に結ばねばならないと思っています。これからも激変な就労環境に適応する為にも常に個別的に内外的なサポート体制を構築して置く必要が強まっていると認識して、皆さんが孤立しないように共に働くという連帯感を深めたいと思っています。

リサイクルプラザ
発寒工房1年の振り返りと
来年の目標

発寒工房 関 隆広

まずは1年を振り返って自転車はいいところもあれば、わるいところもありました。

よいところは、2日3日おきにやれたことです。だめなことは、チェックやしあがりにねじのゆるみやギヤがまわらなくてくじょうがきたことでした。そのほかは、ヤードにいつてきょうりよくやこえをかけあったこともよくできたとおもいました。来年の目標は、たいちょうをととのえて、むりをせずにきょうりよくしあってがんばりたいです。

発寒工房 斉藤 洋平

「どこからスタートすれば・・・」との気持ちが入り混じった4月の当初でしたが、台数の積み重ねや様々な種類の自転車に携わることで、一連の流れというもの少しずつ頭の中に入れることができたと思います。また状態に応じて取り換え、削り、塗装などの選択・判断も自らの意思を持って取り組んでいます。

ただ、修理を行っている皆さんを見ると、スピード・技

術・確実性など力の違いを痛感し、行っていくポイントや今まで見えていなかった内面の部分などを知ることができ、自分で考え対応していく力の必要性も大切であると認識しました。

多くの場面で皆さんに頼り切っていたところがあったので、自分で考える・実行をしていくように努力をしていくことや、作業の範囲を広げ自立できるように目標を持って作業をしていきたいです。

発寒工房 大井 敏彦

今年も1年を振り返る年になり、時のたつのは早いものだと思最近つくづく思います。今年は、昨年の忘年会の代わりに新年会の乾杯の挨拶から始まって良い経験をしたと思います。その後、3月の入札は決まったもののシルバーさん方の退職と僕の仕事内容が洗いだけの作業と大幅に変わってしまったのでなれるまで時間がかかりました。全体的にはイベントには参加でき、体調管理も良かったほうでしたが、身内の不幸や母がグループホームに入ったりなどいろんなことがあった1年でした。来年の目標は人間的にも成長できるようにしたいのですが、今年還暦になって来年の3月には定年になるので、それ以降のことはわかりませんが、仕事でも成長したいと思っています。

札幌市
リユースプラザ

2017年を振り返って・ そして2018年を笑顔で迎えるために

リユースプラザ館長 松永 クニ子

今年は環境事業が入札の年だったために、1月から3月までは環境事業全体がドキドキな日々を過ごしました。そして、4月1日から無事NPO法人ライフの運営管理が決まりました。発寒工房・リユースプラザ・地区リサイクルセンターでは、一部業務内容の変更と定年ということで異動になった方々、去った方々がいらっしゃいました。特に、4月に発寒工房からリユースプラザに異動して来た斎藤悦久さんは一般就労へ挑戦して5月から新たに職場へと旅立ち、8月からはたねやからリユースプラザに今野美志さんが異動となり、今では戦力として大いなる力を発揮しています。2017年はマスメディアから注目を受け



てHBCテレビ「今日ドキッ!」STVラジオ「サテスタ歌謡曲」への出演や、STVテレビ「どさんこワイド朝」での「dボタンで広報さっぽろを観ることが出来ます。」という放送内容に3度も取り上げて頂きました。視聴者の方々が来館して、売上・資源物の持込み量が伸びています。年々、来館者が増えてリユースプラザ・地区リサイクルセンターの増え続ける利用者に、私たちリユースプラザ・地区リサイクルセンター一同は笑顔で対応できるように「やりがいがある!手ごたえを感じる仕事」と自分たちが胸を張って言えるよう日々精進していきたいです。

リユースプラザ、地区リサイクルセンターは寒工房の方々とも連携を取りながら、成年の2018年に向かって全員でジャンプ!!です。

2018年の抱負

西田 大作

2018年も健康に気を付けて、すっかり呑兵衛になってしまったのでお酒を少しだけ控えます。

小野 克代

2018年は芸術力を身に着けようと思います。

本を読んだり、観劇したり、ライブに行ったり(人生ズとか)する2018年にしたいです。

澤田 茂則

2018年は健康のため、水泳に挑戦したいと思います。

工藤 昌幸

精神的にも、体力的にも耐える力をつけたいです。

今野 美志

2018年も気をぬかず、ケガのないようにやっていきたいと思います。

島田 博明

2018年も職場の仲間と助けあい頑張りたい。

白瀬 忠

2018年も病院に行く回数が多いと思いますが、気を付けて元気に働きたいと思います。

川村 公穂

今年は体力増強、智力UP!

松永 クニ子

2018年4月から、10年間単身赴任だった夫が帰って来ます。

仕事第一にしていたが、すっかり忘れた主婦業を思い出し両立を目指します。

▼事務所にて事務作業しています!



▲家具洗いと簡単修理中です。

◀展示場&資源物受入れしています!



札幌市障がい者協働事業所

共働事業所 もじや

印刷事業

- 各種デザイン ■各種印刷 ■その他企画・制作
- グッズ・ノベルティ ■看板・屋外広告 ■のぼり・横断幕
- テープ起こし ■各種データ入力管理

2017年から2018年へ

星 力雄

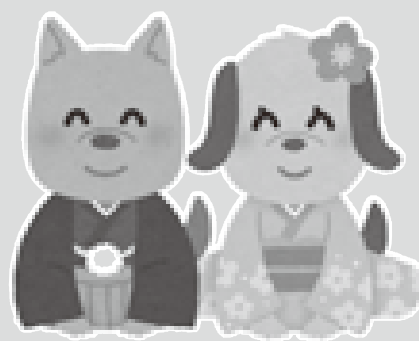
早い、早い、早い、とてつもなく早い、もう既に12月に突入!と言うことは、1年がもうすぐ終わろうとしています。やり残したことは無いか?目標は達成したか?いつも通りの自問自答を繰り返す時期がやって来ました。

それはさておき、本年も皆様方に大変お世話になり誠にありがとうございました。感謝申し上げます。本年もいろいろな出来事がありました。小さく上げればきりがないので大きく2つ程。

1つはもじやのトップニュースでこれはなんといっても本年10月に新しくもじやに加入してくれた佐藤之寛さんです。このアドボケが届く頃には、試用期間も終わり、もじやと佐藤さんの関係も相思相愛になっているでしょう。

もうひとつはライフの重大ニュース、今か今かと待ちわびている、ライフビル建設の全容が明らかになってきていることです。詳しくは新年会で発表があるようです。

いずれにしてもライフ一丸となって、共々にほがらかに仲よく頑張ってみましょう。



全国研修会in函館

中橋 敬人

11月17日に、車にのっていきました。すごくおかつたです。

そして、ホテルについて、6時30分ぐらいに夕食をみなさんといきました。おいしかったです。たべおわって、ホテルに帰ってきて、お風呂にはいりました。

11月18日は、あかれんがで自由時間でお昼をたべました。おみやげもかいました。

そして研修会にむかいました。はじめてどうやってともにしたらうか?とかはなしあいを5時間はながりました。夕食になってごうせいでした。

2日目は、グループになってはたらきかたをみんなで考えました。

そしておわって帰りも車でかえりました。



年末年始休業 のお知らせ

共働事業所もじやは、市民活動プラザ星園の休館期間に合わせて下記の期間を年末年始休業日とさせていただきます。休館期間は施設への立入りもできませんのでご注意ください。ご不便をおかけしますが、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

休業日 2017年12月28日(木)～2018年1月3日(水) ※新年は1月4日(木)より通常営業

平成29年度産低農薬米『ゆめぴりか』 年間契約販売のご案内

年間契約
受付中!

新米入荷

今年も美味しく実りました

こころやでは、ご注文をいただいてから精米し、お届けしております。精米したての新鮮なお米の美味しさを、ぜひご賞味ください。



北海道の優良品種
極良食味米

3kg

1,590円

5kg

2,650円

契約農家による低農薬米 だから安心・安全—

北海道勇払郡厚真町で、自然と付き合いながら農業を続けて50年、本田農場の『ゆめぴりか』を使用しています。

山深い厚真川の水田用水を利用し、除草剤・イモチ防除剤を各1回

しか使用しない低農薬栽培をすることで、安心・安全な美味しい米づくりに取り組んでいます。



● 厚真町
本田農場産

お客様のお好みに応じて
精米いたします

玄米

7分づき

白米

美味しくて栄養たっぷりの「7分づき」

玄米と白米の間のお米で、両方の良さを味わう方法が「7分づき米」です。玄米の栄養素と白米の美味しさの“いいとこ取り”として今大きな注目を集めています。白米と比べるとビタミン・ミネラル・食物繊維を豊富に含んでいるため栄養面でも優れています。

年間契約販売は
10kg単位のご注文からとなります

《有効期限》

2017年10月1日～2018年9月30日の1年間

5%
OFF

60kg以上年間契約をしていただくと、値段より5%引かせていただきます。

通常31,800円が → **30,210円**

1,590円OFF!

送料
無料

年間60kg以上ご契約のお客様は、配送料無料とさせていただきます。

※対象は琴似エリアのみとさせていただきます。周辺応相談。

お買い求め・年間契約のお申込みは



生活介護事業

こころや

札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションモモ1F

TEL 011-614-1871

FAX 011-613-9323

記入日 月 日

平成29年度産低農薬米『ゆめぴりか』年間契約販売申込書

ご契約者	フリガナ		
	お名前		
	住所	〒	—
	電話番号	()	— FAX
	携帯電話		
お届け先	☐ 申し込み住所と同一 ☐ その他（下記に記載の住所） 店頭受取（いずれかに○）【こころや・たねや・ひだまり】		
	〒	—	

契約数量	年間	Kg
------	----	----

お支払い方法	☐ 現金支払（ご来店予定日 月 日） 営業時間：平日10:00～17:00
	☐ 銀行振込（ご入金予定日 月 日）

振込先	銀行名	☐ 札幌信用金庫 琴似支店	口座番号	普通 4297231
	口座名	特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ こころや		
	銀行名	☐ 北洋銀行 琴似中央支店	口座番号	普通 4660616
	口座名	特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ こころや		
	銀行名	☐ ゆうちょ銀行	口座番号	振替口座 02710-4-63485
	口座名	NPO札幌障害者活動支援センターライフ		

※振り込んだ銀行名にチェックを入れてください。

申込書 生活介護事業 こころや
 郵送先 〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションモモ1F TEL 011-614-1871

FAX (011)613-9323

		事務記入欄				
こころや記入欄	価格	契約表	弥生入力	入金	日付	受付担当者

ライフ事業所一覧

◇NPOライフ本部事務局

TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323

共働事業所さばりや

TEL 011-644-5533 FAX 011-613-9323

こころや

TEL 011-614-1871 FAX 011-613-9323

〒063-0812

札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F

コン・プリオひだまり

TEL 011-615-4131 FAX 011-615-4132

〒063-0812

札幌市西区琴似2条3丁目2-37 サンハイム1F

共働サービスたねや

TEL 011-613-0611 FAX 011-644-0088

ヘルパーステーション繭結(ゆい)

TEL 011-623-2505 FAX 011-644-0088

〒063-0804

札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒1F

アウトソーシングセンター元気ジョブ

TEL 011-596-6581 FAX 011-596-6582

〒064-0808

札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園103

共働事業所もじや

TEL 011-596-6583 FAX 011-596-6584

〒064-0808

札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園104

相談室らいふ

TEL 080-6076-1474 FAX 011-596-6584

〒064-0808

札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園203

Cafe de Kibariya(カフェ・ド・キバリヤ)

TEL・FAX 011-758-6533

〒060-0808

札幌市中央区北8条西3丁目 札幌エルプラザ内3F喫茶コーナー

リサイクルプラザ発寒工房

TEL 011-662-7815 FAX 011-662-7816

URL <http://www.reuseplaza.jp/10hassamu.html>

〒063-0835

札幌市西区発寒15条14丁目2-30

札幌市リユースプラザ

TEL 011-375-1133 FAX 011-375-1155

URL <http://www.reuseplaza.jp>

〒004-0003

札幌市厚別区厚別東3条1丁目1-10

1月

イベントカレンダー

26日

ライフ本部

金

ライフ2018年新年会
西区民センター
18:00~最新の情報は、
ホームページを
ご覧ください！<http://www.npolife.net>

NPOライフ

検索

年末年始休業日のお知らせ

2017年12月30日(土)から
2018年1月3日(水)まで上記の期間は年末年始につき
休業とさせていただきます。
ご不便をおかけいたしますが
何卒ご理解賜りますようお願い
申し上げます。

《NPOライフブックレットのご紹介》

日本発
共生・共働の社会的企業

経済の民主主義と公平な分配を求めて

社会的排除から
インクルージョンへ障害者・薬物・アルコール依
存、シングルマザー、ホーム
レス、ニートなど、社会的に
排除されやすい人を一定割
合雇い、ソーシャルインク
ルージョンと平等な分配を
追求する社会的事業所の意
義と取り組み、促進のため
の制度を考える。

編者 NPO法人共同連

現代書館 195×135 240ページ 定価 2,100円

ブックレットのお申込みは、NPOライフ本部事務局まで！
メールでのお申込みは ⇒ main_lifemail@npolife.net

ご協力ありがとうございます（順不同・敬称略）

アドボケイト購読料 花崎 皋平 高橋 則克 和田 順義 山下 恵美子

寄付金 山本 价則 高野 百合子 川村 勇 大浦 涼子

賛同会員会費 大友 勝美 大浦 涼子 川村 勇

ライフカンパのご案内 ～だれもが地域であたりまえに暮らし、働くことができる社会を作ろう～

ライフは障害の種別を超え、「働きたい」と願う人の気持ちを繋ぐために25年以上活動を続けてきました。これからも、障害のある人ない人をはじめ、社会的に不利な状況にある人たちも含めた、共に働き共に生きていく「社会的事業所」づくりをすすめていきます。ライフの活動に共感してくださる皆様方からの応援を是非ともお願いいたします。

お振り込み先	口座番号／加入者名
北洋銀行	琴似中央支店 普通預金 4606735 特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ 理事長 我妻 武
札幌信用金庫	琴似支店 普通預金 3296744 特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ 理事長 我妻 武
ゆうちょ銀行	振替口座 02710-4-63485 NPO札幌障害者活動支援センターライフ

月替わりコラム
～私のオススメ～

「探偵はBARにいる3」もぜひどうぞ

相談室ライフ 大浦 丸

ちょっと古い本で、慶應大の権丈善一先生の本よりは小ぶりな「スウェーデンの挑戦(早大の岡沢憲実 著 岩波新書 1991年)」。発売当時は、180年以上不戦で、貧しい農業国から世界で最も豊かな幸福祉国になったスウェーデン(今は200年以上不戦)。

日本では、わずか3%の消費税で大騒ぎしていた1990年夏から、消費税25%のスウェーデン(スウェーデンでは

食料品は12%の軽減税率、デンマークでは食料品も25%)。女性、高齢者、障がい者、在住外国人…すべてにやさしいスウェーデン社会はまた、つねに反福祉論者からの厳しい批判にさらされてきた。高負担にどこまで耐えられるか？

2017年10月22日の札幌での第3回国際フォーラムでデンマークの在住のN・E・バンクミケルセン記念財団理事長千葉忠夫さんが、デンマークの障がい者施設では「利用者100人に支援者250人」とおっしゃり、聴衆者はびっくり。

時間があれば「その女アレックス(ピエール・ルメートル 著 2014年)」、「暗闇のアリア(新保裕一 著 KADOKAWA 2017年)」もどうぞ。



編集後記

去年の今頃は精神的にきつかった。今年は少し落ち着いて年末年始を迎えられそうだ。本当に友人や仲間たち、ご近所の方々に色々と支えていただいた。ありがとうございます。11月の中旬には共同連の函館研修会があり、Sさんと一緒にJRで小旅行気分に出掛けた。参加するかどうか迷っていたのだが、酒をチビチビと酌み交わしながらあれこれと話をした。また、参加された方々とも話をすることが出来、とてもいい時間だった。自分のことだけで落ち込んでばかりもいられない。ライフ全体のことも考えなければならぬし、先行きに不安を感じている友人もいる。何が出来るか考えたい。鬼が笑うが、2017年の新年会で打ち上げた花火が不発にならずに大きな花火となって実現する初夢を見たい。どうなることやら。(タケ)

あどばい
12・1月号
No.204 定価 100円

2017年12月10日(毎月10日発行) HSK通巻番号549号 1973年1月13日第三種郵便認可 発行人=北海道障害者団体定期刊行物協会
編集者=我妻 武
◇特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ
〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323
E-mail honbu@npolife.net ホームページ <http://npolife.net/> 郵便振替口座 02710-4-63485